

日本慢性期医療協会 定例記者会見

日時：平成29年6月22日17:15～
場所：東京研修センター

1. 「治療しない肺炎」の概念について
2. 看護師の他職種との協働に関するアンケート

結果報告

3. 「介護医療院協会」設立準備委員会 開設

日本慢性期医療協会 定例記者会見

日時：平成29年6月22日16:30～

場所：東京研修センター

1. 「治療しない肺炎」の概念について
2. 看護師の他職種との協働に関するアンケート

結果報告

3. 「介護医療院協会」設立準備委員会 開設

日本呼吸器学会は2017年4月21日
「成人肺炎診療ガイドライン2017」
を発表。「治療しない肺炎」の概念を発表した。

同じくガイドライン作成委員の1人で、佐賀大学国際医療学講座教授・附属病院感染制御部部長の青木洋介氏は、週に一度、長期療養型病床を兼ねた施設で診療しているが、様々な疾患を原因として寝たきりになっている患者が多く、こうした患者では肺炎は必発だという。抗菌薬治療を行っても、いったんは改善するものの、中止すれば再燃する患者も多い。「肺炎が治っていくという手応えを感じることは難しい」と日々感じている。「痰の吸引などのケアは絶対に必要だが、抗菌薬を本当に投与すべきか、よく考えていくことも必要だろう」と語る。

終末期の意思決定の考え方をまとめたガイドラインを参照

改訂・統合するガイドラインでは、過去に厚生労働省や日本老年医学会が発表した終末期の医療やケアのあり方、意思決定プロセスに関するガイドラインを参考にした記述を盛り込む見込みだ。

2007年に厚生労働省は、「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」（2015年に改訂）を作成し、終末期の医療の提供のあり方に方向性を示している。さらに2014年には日本老年医学会も、人工的水分・栄養補給の導入を中心としているものの、「高齢者ケアの意思決定プロセスに関するガイドライン」を発表。「本人の予後を見通して、全体として延命がQOL保持と両立しない場合には、医学的介入は延命ではなくQOLを優先する」（同ガイドラインより）など、終末期の医療提供のあり方をまとめている。

「こうした先行するガイドラインを参考・引用していくことになるだろう。肺炎による一時的な苦痛を除去するための抗菌薬投与などは主治医や個人・家族の意思を尊重した上で推奨することになるだろうが、抗菌薬投与が30日、90日、1年後の予後を必ずしも改善するわけではないといった但し書きも加えていくことになるのではないかと門田氏はいう。

終末期や老衰に定まった定義がない現時点では、どんな状態の患者に「個人の意思尊重、QOL優先」に基づいた医療を提供するかをガイドラインで明示することは難しい。ただし河野氏は、「一步踏み込んでいかないと、患者や家族のためにならないし、医療現場も疲弊する。難しいテーマではあるが、ガイドラインに一定の記述を盛り込んでいくことで、基準の確立に向けた診療経験のデータが蓄積していくことを期待している」と語る。

肺炎は高齢者の死亡原因の第3位で、寝たきりやサルコペニアに伴う誤嚥性肺炎を中心とした高齢者肺炎はさらに増えていくと考えられ、家族や医療現場への負担もさらに増すことが懸念されている。肺炎診療ガイドラインが一步踏み込んだ方針を示すことで、より具体的な終末期医療のあり方を模索する手がかりになると言えそうだ。

高齢者の誤嚥性肺炎の病態



治る病気は 治して差し上げる

2017年2月 武久 洋三 作成

日本慢性期医療協会では、
感染症は治療可能な疾患と考えている。

肺炎発症前後の平均ALB値の経過

対象者；2017年1月～4月に肺炎治療を開始した入院患者124人中

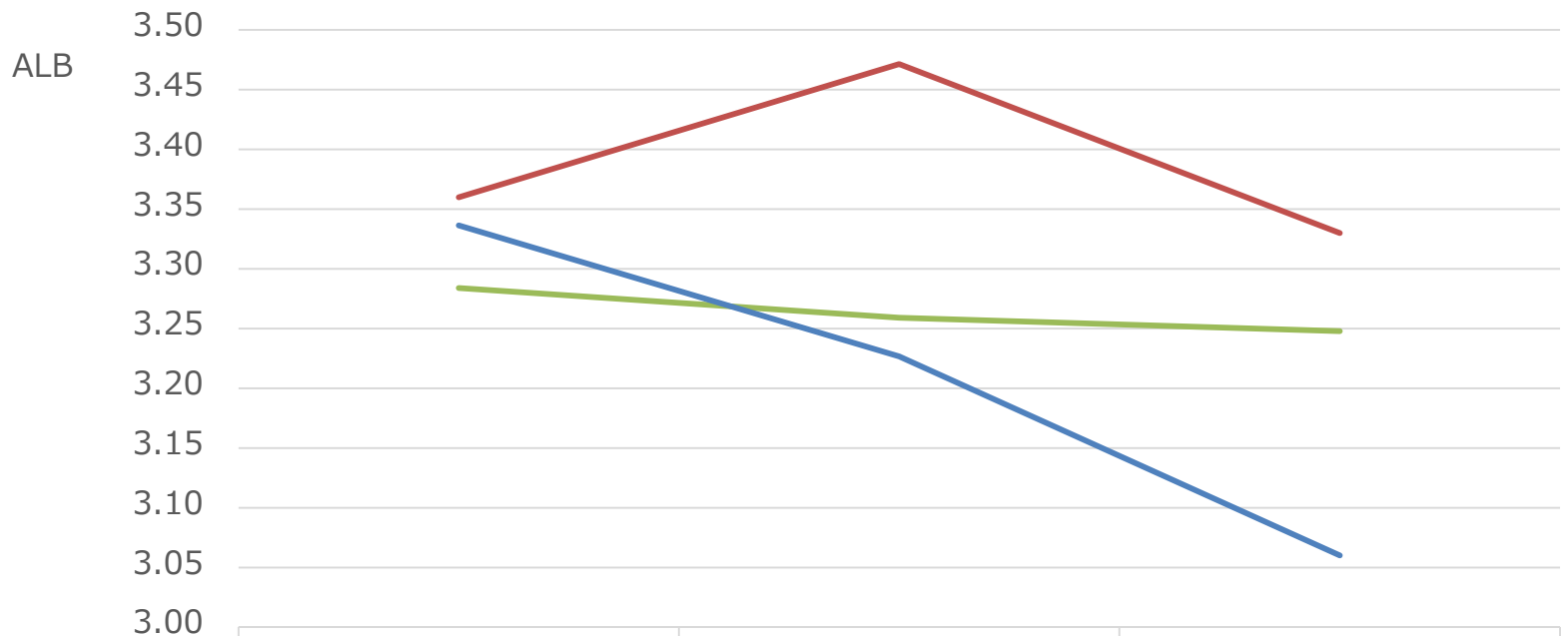
30日以内に「肺炎」に関して治癒（軽快退院）した患者 7人

30日以内に「肺炎」に関して治癒（入院中）の患者 71人

死亡退院した患者 15人の合計93人

（※31名は31日以降「肺炎」の継続治療のため除く）

肺炎発症前後の平均ALB値の経過

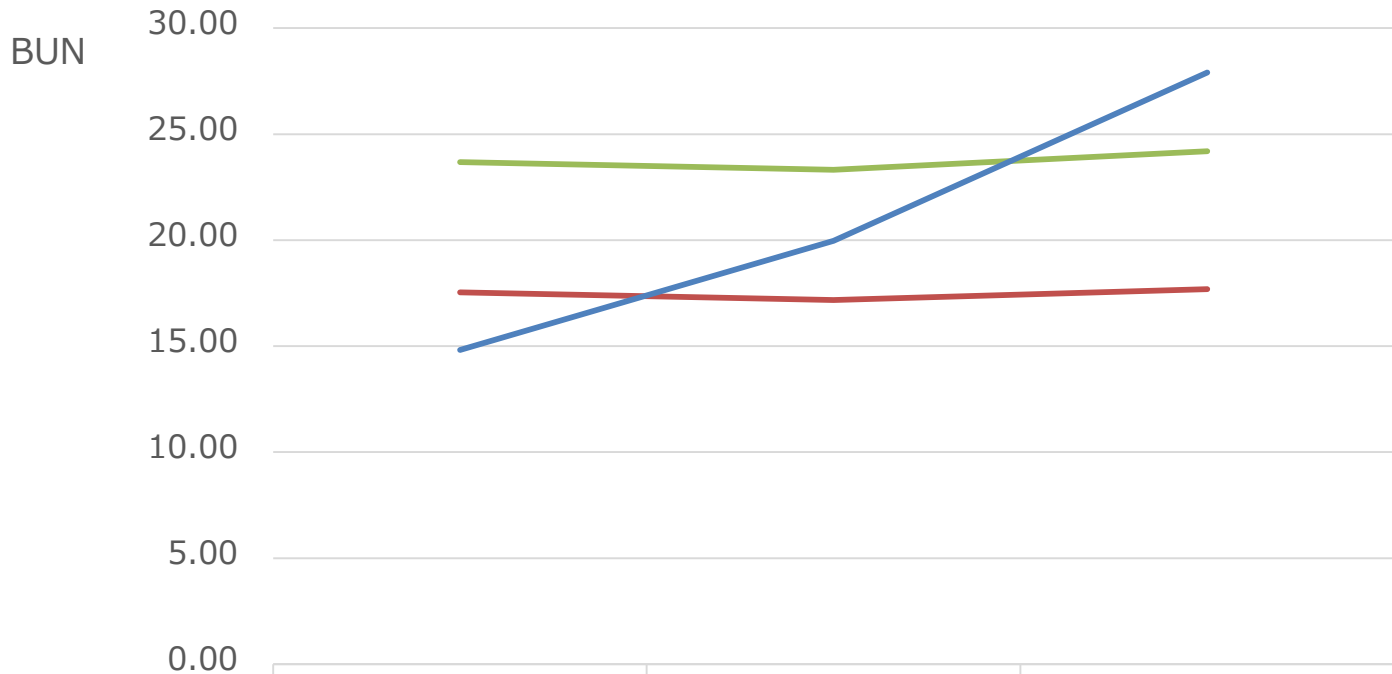


	肺炎発症前	肺炎発症時	肺炎治療後
在宅等へ退院患者平均値	3.36	3.47	3.33
入院中患者平均値	3.28	3.26	3.25
死亡患者平均値	3.34	3.23	3.06

肺炎発症前後の平均BUN値の経過

対象者 ; 2017年1月～4月に肺炎治療を開始した入院患者124人中
30日以内に「肺炎」に関して治癒（軽快退院）した患者 7人
30日以内に「肺炎」に関して治癒（入院中）の患者 71人
死亡退院した患者 15人の合計93人
(※31名は31日以降「肺炎」の継続治療のため除く)

肺炎発症前後の平均BUN値の経過



	肺炎発症前	肺炎発症時	肺炎治療後
在宅等へ退院患者平均値	17.54	17.17	17.69
入院中患者平均値	23.69	23.32	24.19
死亡患者平均値	14.82	19.97	27.90

栄養と水分を適切に管理しながら、
抗生物質等を投与した症例は
改善している。

低栄養や脱水、電解質異常、
高血糖、貧血などの状態を
考慮せずに抗生物質の投与をした
例は、残念な結果となっている。

日本慢性期医療協会 定例記者会見

日時：平成29年6月22日16:30～

場所：東京研修センター

1. 「治療しない肺炎」の概念について
2. 看護師の他職種との協働に関するアンケート

結果報告

3. 「介護医療院協会」設立準備委員会 開設

病院の入院医療費は「基準看護」という
病棟に看護師が患者さん何人に1人
配置されているかによって
殆ど決定されている。

病院は今や医師と看護師のみで
運営されているわけでない。
多職種によるチーム医療によって
患者の治療を行っている。

薬剤師、管理栄養士、理学療法士、
作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、
社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、
MSW、介護職、診療情報管理士、
臨床検査技師、診療放射線技師、事務
等の職種が入院患者の治療に関わっている。

これらの多くのコメディカルが
病棟に専従で配属されたら、
看護師と同様に評価してはどうか。

日本慢性期医療協会では、
会員病院の病棟看護師さんに
病棟にいて一緒に仕事をして
欲しいのはどういう職種の人達
ですかとアンケートを実施した。

日本慢性期医療協会 看護師の他職種との協働に関するアンケート(平成29年5月実施)

日本慢性期医療協会 会員施設にて勤務する看護師が、病棟で一緒に働いてもらいたい職種についてアンケートを実施した。

看護師経験年数	全 体	医療療養	介護療養	地域包括 ケア	回復期	一 般	精 神
看護師数 (人)	5,535	2,137	504	426	762	862	266
経験年数平均 (年)	16.1	17.5	21.8	13.9	13.0	12.6	17.0
～5年 (%)	21.0	17.0	9.5	26.8	26.0	29.9	27.1
6年～10年 (%)	18.1	16.9	9.3	16.7	22.4	21.1	17.3
11年～20年 (%)	30.3	31.4	30.2	32.9	33.3	28.8	19.9
21年～30年 (%)	20.2	22.6	28.0	18.5	13.9	16.2	19.2
31年～40年 (%)	9.1	11.1	19.6	4.7	3.9	3.9	10.5
41年～50年 (%)	1.3	1.0	3.4	0.5	0.4	0.0	6.0

勤務している病棟	全 体	医療療養	介護療養	地域包括 ケア	回復期	一 般	精 神
看護師数 (人)	5,115	2,205	517	444	785	891	273
比率 (%)	100.0	43.1	10.1	8.7	15.3	17.4	5.3

日本慢性期医療協会 看護師の他職種との協働に関するアンケート(平成29年5月実施)

日本慢性期医療協会 会員施設にて勤務する看護師が、病棟で一緒に働いてもらいたい職種についてアンケートを実施した。

病棟に勤務してほしいコメディカル

	全 体	医療療養	介護療養	地域包括 ケア	回復期	一 般	精 神
看護師数 (人)	5,719	2,205	517	444	785	891	273
介護福祉士 (%)	84.0	87.1	89.4	84.5	90.6	78.7	77.7
薬剤師 (%)	79.8	77.7	74.9	85.4	83.9	87.2	65.9
理学療法士 (%)	79.3	81.2	79.3	83.1	87.6	76.2	67.8
作業療法士 (%)	76.7	77.1	75.8	82.7	88.0	71.8	71.8
歯科衛生士 (%)	74.1	80.3	79.7	71.8	77.2	66.2	63.7
言語聴覚士 (%)	73.8	76.1	71.6	79.7	86.6	69.8	57.5
社会福祉士 (%)	73.0	72.4	65.8	82.7	84.1	70.7	67.0
管理栄養士 (%)	71.4	72.5	68.9	73.4	78.1	69.5	64.8
臨床検査技師 (%)	59.3	63.3	54.5	57.0	61.3	57.7	54.2

日本慢性期医療協会 定例記者会見

日時：平成29年6月22日16:30～

場所：東京研修センター

1. 「治療しない肺炎」の概念について
2. 看護師の他職種との協働に関するアンケート

結果報告

3. 「介護医療院協会」設立準備委員会 開設

日本介護医療院協会 設立準備委員会

が、本日日本慢性期医療協会総会において設立することが決まりました。